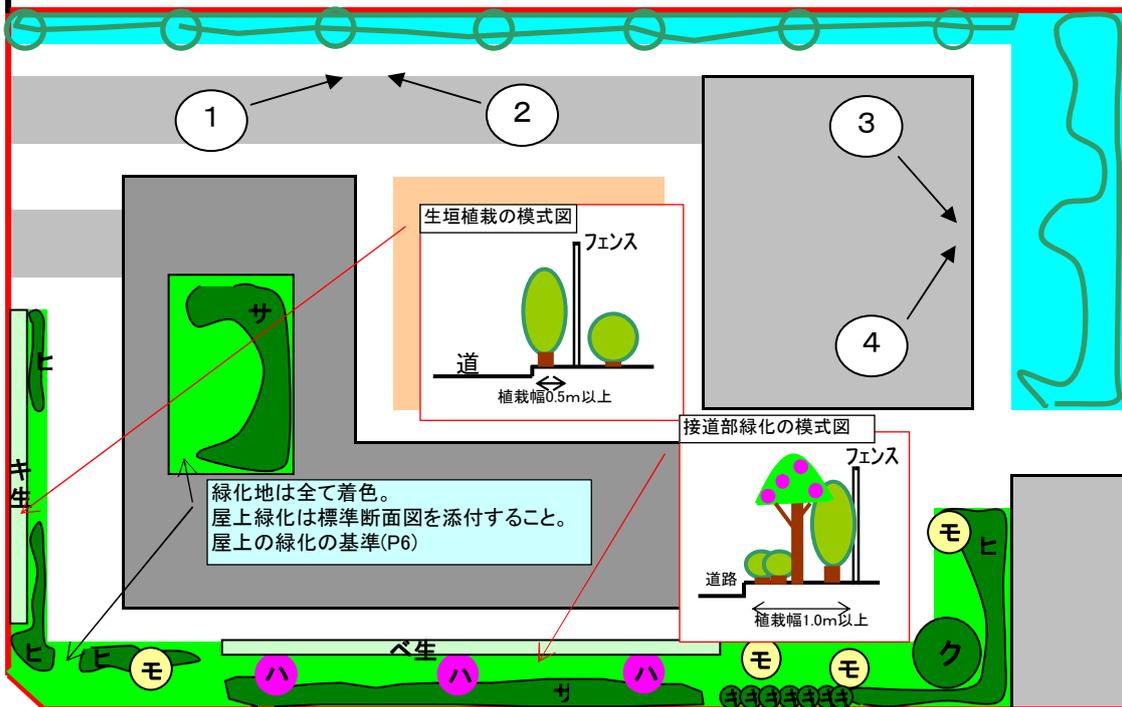


植栽計画図

縮尺1/100~1/200を標準で作成。

※保全される緑地と創出(新たに作られる)される緑地は色分けして着色してください。 北

※示したページは川崎市緑化指針ダイジェスト版と対応しています。



緑化地は全て着色。
屋上緑化は標準断面図を添付すること。
屋上の緑化の基準(P6)

現況写真は、緑地の状況、良好な管理状況が把握できるように、詳細に撮影してください。又、写真は別紙にまとめてください。

※①~④の番号については現況写真の撮影位置とする。

植栽計画図
縮尺 1:250

凡例、樹種名(P18)、規格(P4)、本数を記載。

創出(新たに作られる)される緑地のみが対象となります。植栽最低基準本数に係る緑化面積の考え方(P5)

凡例

高木、中木、低木の規格(P4)

記号	樹種名	高さ	目通り	葉張り	本数	備考
ク	クスノキ	6.0	0.7	2.5	1	大景木
ハ	ハナミズキ	3.5	0.18	1.0	3	
コ	ハクモクレン	3.5	0.18	1.5	3	
シ	シラカシ	3.5	0.18	1.0	7	
合計					14	

緑の量的水準の考え方(P5)※注1
緑の量的水準(計画すべき植栽本数)

植栽本数対象面積 = (緑化地面積 + 屋上緑化) = 162.50㎡ + 50.00㎡ = 212.50㎡

中木

記号	樹種名	高さ	葉張り	本数	備考
キ生	キンマツゲ	1.5	0.5	40	生垣
ベ生	ベニカナメチ	1.5	0.4	50	生垣
キ	キンマツゲ	1.5	0.5	7	
合計					90

1㎡当りの高木等の本数基準(P5)
212.50㎡ × 0.08本/㎡ = 17本以上
最低必要本数

17本 × 1/2 = 9本 (17本 - 9本 = 8本分は中木又は低木に振替可能)

本計画本数
14本 (17 - 14 = 3本分中木に振替)

低木

記号	樹種名	高さ	葉張り	本数	
ク	ヒドツツジ	0.3	0.4	250	
サ	サツキツツジ	0.3	0.3	300	
合計					550

212.50 × 0.16本/㎡ = 34本以上
必要本数

34本以上 + 3本 × 2倍 = 40本以上

212.50 × 0.48本/㎡ = 102本以上
必要本数

※裸地については、地被植物等で緑化する計画とする。

裸地については、修景効果、土壌の飛散防止、ヒートアイランド対策など様々な効果がありますので、裸地部分も積極的に緑化を行ってください。(P4)

植栽樹木の考え方(P5)
各樹木の比率は、下記の通り
高木:中木:低木=1:2:6
基準の高木1本を中木に振り替える場合は、中木2本、低木の場合は6本となります。
また、各種樹木の振り替えを行う場合は、振り替えを行う樹木の基準本数の2分の1以上(少数点以下繰上げ)を植栽する必要があります。

注1) 緑の量的水準で算出される本数は標準(最低)の本数を示したものでありますので、個々の建築物のコンセプトや周辺の環境との調和を考え、植栽計画を検討してください。